

2018年度 年主題 <イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～>

0・1・2歳児 5月主題 「みる」

月のねがい
 ◎神さまのお守りの中、周りの様子に目を向ける。
 ◎神さまがつくられた風や光を感じながら花や虫を見る
 ◎要求や気持ちを受けとめてもらい、安心して過ごす
 ◎保育者のそばで遊びが広がる

3・4・5歳児 5月主題 「動く」

月のねがい
 ◎聖書のお話にふれ、イエスさまに親しみを覚える
 ◎自分の好きな遊びや場所が見つかる
 ◎花や虫などを身近に感じ、心動かしたり関わろうとする
 ◎自分の気持ちを身近な人に気づいてもらって過ごす



あつという間の一ヶ月!

新年度が始まり、あつという間にひと月が経ちました。新入園児の保護者の皆様には、初めての園生活に慣れてくれるだろうか、お友だちはできるだろうか、様々に不安を感じられることもおありではないでしょうか。我が家の長男もついに高校生になり、毎日のお弁当が私の日課になりました。でも、弁当作りもなんとなく楽しんでいる自分がいます。..が、いつまで続くやら..(笑)

さて、今年は、大きな元気の良い声で涙するお友だちが多く、とても賑やかなスタートをしたこども園です。4/2の初日に新入園児の子どもたちには、在園児の子どもたちに自己紹介してもらいました。

「どこから来たの?」「日本!」(本当は、千葉..!)
 「嫌いな食べ物ある?」「野菜!」(元気よく..!)
 なかなかおもしろい回答に、少し和やかな雰囲気になったのでした。また、次の日、3才児の保護者の方に前日泣いたことを伝えると、本人が「泣いて先生たちを困らせたの..!」と話してくれたと教えていただきました。泣きながらも、ちゃんと周りを見ているんだなとびっくりしました。

まだまだ涙する子どもたちですが、やっぱり外遊びが大好きです。お庭に出ると、徐々に落ち着きを見せます。改めて自然の偉大さを感じます。こちらが笑わせようとしたり落ち着くように声をかけるよりも、一匹のダンゴ虫をそっと見せると、にこっと笑って涙を忘れることもあります。(ダンゴ虫に負けた..なんて。)

だんごむしもテントウムシもめいろうこども園の仲間です。そんなたくさん仲間にも力を貸してもらいながら、今年も1年たくさん楽しいことを見つけていきたいものです。今年のめいろうのテーマも決まりつつあります。どうぞお楽しみに..♪

森山

今月の聖句 「なんと辛いことでしょう。あなたの家に住む人たちは。」

詩篇 84:4

今月のキーワードはあなたの家「神の家」です。私たちの人生で常に考えるべきテーマです。「神の家」は創造主を信じる人、感じる人に備えられています。

まず、自然は神の家。人も動物も植物もすべて生きとし生けるものは自然の中で育まれています。自然は時に災害という形で試練を与えますが、それは人が自然の彼方に永遠の家(死後往生するところ)があり、そこに希望をつなぐことができるためです。

第2、神の家は信仰の家です。神を信じる信仰があれば、その人の生きる環境はすべて神の家です。神と交わり、天地創造の神を思い、恵みをもたらす神を思い、平和を願う神を思い、永遠のいのちを約束した神を思います。ここに心の平安があります。

第3、神がとどいて、すべての人、生物を守ってくださることを幼子のときから経験させることは身体の健全、知育とあわせて必要なことです。

牧師・前理事長 池田公榮

5月の行事予定

8～18日	家庭訪問
8日(火)	内科検診
10日(木)	給食試食会(こすもすたんぽぽ)
17日(木)	5月誕生会
17日(木)	給食試食会(すみれ)
22日(火)	避難訓練
26日(土)	家族の日参観
29日(火)	消防署見学(年中・長) 弁当日
30日(水)	〃 (すみれ・あじさい)

6月の行事予定

19日(火)	6月誕生会
20日(水)	歯科検診
14・21日	弁当日

新採用職員紹介

4月からスタッフに加わりました江口久美子です。栄養士・カフェ担当として、子どもたちと楽しく関わりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



わエルの卵
み〜つけた!



あそんであそんで人間になる

大きく花を広げたアマリリスが、今を盛りやかに咲いています。葉を落としたりしたセンダンも枝いっぱい新緑の葉を繁らせて、ポピーやガザニアが色鮮やかに癒やしてくれました。

幼児期は一生のうちで最も多くのことを覚え、身につける時期です。この時期に獲得される多くのことが、その後の行動の基となる根づきになっていくと言われています。子どもがいろいろなことを体験し、身につけていく過程を「学習」と言いますが、幼児の学習の基本は、好奇心や関心による「遊び」によって獲得されるものです。遊びは、①子どもの好奇心や探索心に基づく自発的に行われるもの。②目的がない。③面白くて、楽しい。④現実の世界から切り離されている。⑤現実と直接に役立つという意識がない。と言われています。遊びの意義とは、①運動能力を高める。②興味や好奇心を高め、知的な発達を促進する。③イメージを広げ、表現力を豊かにする。④同年齢、あるいは異年齢の仲間関係を体験する。⑤さまざまな情緒的体験を持つ。⑥自発性、自主性を養うということです。

子どもにとって、遊びは生きることそのものです。「これは何だろう?」「もつと知りたいたい!」知的好奇心の刺激が将来の学びや社会へ向かう原動力となります。ただ無秩序に遊んでいるように見えても、子どもたちの脳はフル回転で、いつも楽しいことを探しています。夢中になって遊ぶ中で友だちとのトラブルや葛藤を体験し、挫折感や成功感を味わいます。遊びを考え、工夫し、試行し、協力し合います。自然溢れる空間、ゆったり流れる時間、そして感動を共感できる友だち、都市部では少なくなりました。この三要素を遊びの大切な環境構成といえるでしょう。私たちもほとんどの「遊び」心を持って子どもたちに接していきたいものです。

新年度を迎えて、あつという間のひと月が過ぎました。玄関や保育室で聞こえていた泣き声もほとんど納まり、少しずつ自分の居場所を見つけ始めた子どもたちです。新しい環境を観察しつつ、一日の流れや約束事を理解し始めて、周囲の子どものこともこの間にも関心が向いてくるでしょう。それに伴い、自己主張の衝突も出てくるということになります。いつも仲良く遊んで欲しいと大人は願いますが、様々な心の葛藤や交流を経て、互いを認め合う関係になっていくのを見守ることも大切ですね。保護者の皆様は「泣いてもいいんだよ!」「いっぱいあそんでおいで!」と明るく送り出してくだされば幸いです。連休をご家族で楽しまれながら、どうぞ十分な休養もお願いしたいと思います。



どかんのトンネル



ネットクライミング



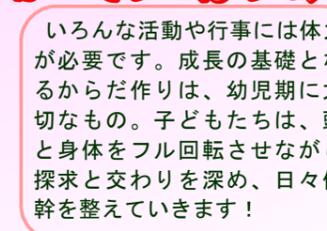
くらくらぼし



くねくねぼし



アスレチックス



タイヤころがし



いっぽんぼし



うんてい



たいこぼし



つりぼしとりて



うんてい



うんてい

からだをつかっていっぱいあそぼうね!

いろいろな活動や行事には体力が必要です。成長の基礎となるからだ作りは、幼児期に大切なもの。子どもたちは、頭と身体をフル回転させながら探求と交わりを深め、日々体幹を整えていきます!